

東京外かく環状道路（千葉県区間）環境影響予測の実施方針（案）
に対する意見について

松戸市

「5. 予測条件等」の表 1「予測条件等」の中で、気象条件、NOx 変換式、年間 98%値への換算式、年間 2%除外値への換算式の 4 項目で、平成 13 年度から平成 22 年度の測定結果を基に設定する等、最新のデータとして平成 22 年度の測定結果を使用していますが、平成 24 年 8 月に千葉県ホームページで平成 23 年度の測定結果が公表されているため、最新の公表データである平成 23 年度測定結果を用いて条件設定してはどうか。

市川市

【全 般】

①今回の環境影響予測結果について公表して頂きたい（以下の意見項目の予測結果を含む）。

【大気質】

- ①予測平面図上で、大気汚染物質がどのように拡散するのか濃度分布を示して頂きたい。
- ②大気質の予測高さは技術手法において地上 1.5m の高さでの評価となっているが、都市部のように道路周辺に中高層住宅がある状況下での大気汚染物質濃度が、高さ方向でどのような分布になると予測されるのか示して頂きたい。
- ③京葉 JCT、高谷 JCT において浮遊粒子状物質を予測対象外としているが、実施計画の際にも提案したが、既存データとして走行パターンなど単純化するなど評価して頂きたい。

【騒音】

- ①予測平面図上で騒音の分布を明らかにして頂きたい。
- ②音の環境基準の評価は、対象となる道路周辺に立地する建物の状況を考慮し、地上 1.2m だけではなく高さ方向についても評価を行うこととなっている。したがって、現時点において既に遮音壁の高さを超える建築物や高台に立地する建築物が周辺に存在する場合は、2階高さのみの予測・評価ではなく、それらに対する予測・評価も実施して頂きたい。
- ③標準部についても②と同様な地点が存在するため、今回の予測の対象として加え、高さ方向について十分な予測を行うべきであると考えます。
- また、今回実施しない場合であっても、今後予測を行い公表して頂きたい。
- ④平成 10 年に騒音に係る環境基準が改正されたことを踏まえ、環境影響評価(平成 8 年)の環境保全目標及び現行基準に基づく予測・評価をして頂きたい。

【交通量】

- ①実施方針における計画交通量において、平成 8 年環境影響評価時と比べ特に高速自動車国道部の台数が 2 割程度減っているが、この根拠について、また、予測調査箇所ごとの計画交通量の差異について示して頂きたい。
- ②市内主要道路の外環道路供用に伴う交通量変化について予測・評価して頂きたい。

【調査箇所】

今回の実施目的(アセスのフォローアップ：予測の検証)を鑑みて、調査地点に平成 8 年時の環境影響評価対象地点を加え、最新の技術手法を用いた予測・評価の検証をして頂きたい

- ①予測地点 (12 地点)：北国分(松戸 IC)・国分(市川北 IC)・須和田・菅野・平田(国道 14 号)・大和田・田尻・高谷(IC)小塚山蓋掛け・菅野蓋掛け・京葉 JCT、高谷 JCT
- ②調査項目 大気質(二酸化窒素・浮遊粒子状物質)、騒音